

女性活躍への取り組みは

八学大で講座 地元企業の3人説明

八戸

青森県は18日、八戸学院大(小林眞学長)で「あおもり女性就職サポーター講話」を開催した。県内企業で働く3人が、自身の経験などを元に仕事のやりがいや地元で働く利点などを紹介した。

県は女子学生や若手女子社員の県内就職・定着を推進する目的で、県内企業的女子社員有志を「サポーター」に登録し、高校や大学で講話などを行っている。

この日は、建設業から小坂工務店(三沢市)、医療福祉業からスマイルタカラ(おいらせ町)、情報通信業からデーリー東北新聞社の担当者が出席。



地元企業の女性活躍の取り組みなどが紹介された講話

同社デジタル編集部の金濱千優希記者は、女性社員が中心となって取り組む事業や福利厚生などについて説明し「女性の活躍の場が広がっているし、女性ならではの視点も必要としている」と強調。県内就職については「地元にどんな企業、仕事があるか、興味を持って調べてみて」と呼びかけた。